

緑の季節から梅雨へ

新年度は2カ月が過ぎました。2・3年生は、落ち着いた生活をし、1年生は学園生活にも少しずつ慣れてきたことと思います。さて、「目には青葉山ほととぎす初鰹」（山口素堂）という人口に膾炙した句があります。この句の「青葉」は、夏も幾分閑（た）けた頃の青々と茂って緑濃くなつた葉を言います。樹木の新芽が膨らみ、花をつけ、葉を茂らせる過程は、日に日に緑が色を濃くし、まぶしく輝いています。自然の緑を目にすると目の疲れが取れたり、心が落ち着きます。森林浴をすると身も心もリフレッシュすることと共通しています。

ところで、皆さんは緑色に分類される色はどのくらいあるか知っていますか。日本塗料協会の色見本を見ると87色あることが分かります。一例を挙げると、山葵Ⅱ（わさび）すり下ろした山葵の黄緑色のこと。殿茶Ⅱ（とのちゃ）灰みがかつた青緑色のこと。花萌葱Ⅱ（はなもえぎ）青葱の葉のような濃い緑色。花緑青Ⅱ（はなろくしよう）明るく渋い青緑色のこと。一例を挙げましたが、日本の先祖が蓄えてきた言葉を大切にし、適切に使えるようにしたいものです。緑の季節から梅雨の時期になります。雨水の言葉はまさに降るほど存在します。雨に関する言葉も校長室前に紹介しています。興味のある人は見て下さい。

### ○6月の言葉

向き不向きよりも前向きな姿勢が大切である。

○語彙力チェック

- ①「眩惑」とはどんな惑いか。
  - A 頭を殴られ、思考力が鈍る。
  - B 口車に乗せられ、騙される。
  - C 目がくらんで、判断できない。
  - ②「毫も」の正しい用法はどれか。
  - A その知らせは毫も信じられる。
  - B その知らせは毫も信じられない。
  - C その知らせは毫も信じたい。
  - ③「好一番」と同じ意味は。
  - A 好成绩 B 好男子 C 好取組
  - ④「紅一点」の正しい読みは。
  - ⑤「光陰口の如し」の口に当てはまる漢字は次のどれか。
  - A 馬 B 音 C 矢
  - ⑥「行雲流水」の正しい意味は。
  - A 自然の成り行きに任せる例え。
  - B 雲や水の流れのようにいかない
  - C 自然に身を置き、心を清める。
- （解答）①C ②B ③C ④こういつてん ⑤C ⑥A